

平成30年1月25日発行

発行責任者：吉岐市議会議長

編集：議会広報特別委員会



## 【主な内容】

10月～12月会議で決めたこと	2
どえな予算のあると	3
委員会レポート	4
行政視察に行ってきました!!	6
一般質問 (13人が登壇)	8
議会報告会のお知らせ	15
市民の声	15
議会だよりクイズ	16



## 平成30年 吉岐市消防出初式

出初式では、吉岐市纏組が「初纏」を披露。武生水保育所園児が、「火の用心」の掛け声とともに拍子木を叩きながら市中行進を行いました。

「ひのようじん かぞくみんなの あいことば」吉岐市火災予防標語



## 10月～12月会議で決めたこと

### ◆大谷公園体育館耐震改修工事請負契約の変更

大谷公園体育館耐震改修工事において、外壁改修の増等により契約変更した。

(変更概要) 鉄筋腐食等による爆裂部改修の増、モルタル浮き部改修の増、  
外壁ひび割れ部改修の増、タイル浮き部改修の増、手すりの改修  
変更後契約金額 1億7,080万5,240円 (現契約金額 1億6,059万6千円)  
契約の相手方 (株)山内組 代表取締役 山内 昇

### ◆長島地区放射線防護対策施設整備工事（建設主体工事）請負契約の締結

原子力災害で緊急事態となった場合、三島地区住民の即時避難が容易でないと予想されるため、一時的に避難する屋内施設を建設するため契約するものである。

(原島地区にも同様の施設を建設中である。)

契約金額 1億8,684万円  
契約の相手方 (有)割石工務店  
代表取締役 割石 賢明



建設中の長島地区放射線防護対策施設

### ◆沓崎市附属機関設置条例の一部改正について

空き家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づき、計画の作成及び変更並びに実施に関することを行う「沓崎市空家等対策協議会」を設置するため条例の一部改正する。

### ◆沓崎市税条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、これまで国が一律定めていた固定資産税の課税標準の特例割合や期間を、一定の範囲内で市町村の判断により条例で定めることができる地域決定型地方税制特例措置（通称：わがまち特例）が導入されたことにより規定の整備を行うものである。

### ◆指定管理者の指定について

市が所管する各施設の管理・運営について委託する。指定期間は、平成30年4月1日～平成33年3月31日までとする。

- 沓崎市芦辺浦住民集会所  
指定管理者：芦辺浦商業組合 組合長 篠崎 勉
- 沓崎市高等職業訓練校  
指定管理者：職業訓練法人 沓崎高等職業訓練協会 会長 松永 裕一
- 沓崎市自動車教習場  
指定管理者：株式会社 共立自動車学校 代表取締役 長島 正
- マリンパル沓岐  
指定管理者：有限会社 マリンパル沓岐 取締役 赤木 英機

### ◆公有水面埋立について

公有水面埋立許可の出願に係る意見について異議のない旨を長崎県に答申するもの。

埋立位置：沓崎市郷ノ浦町大島字大泊554番8の地先公有水面  
埋立面積：2.60㎡  
埋立地の用途：漁港施設用地

## ●平成29年度補正予算

一般会計の10月～12月補正額計	2億7,528万6千円
特別会計の10月～12月補正額計	641万7千円
一般会計＋特別会計補正後の予算総額	374億6,051万4千円

### ○平成29年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	10月補正額	12月補正額	補正後予算額合計	
一般会計	26,971,992	52,655	222,631	27,247,278	
特別会計	国民健康保険	5,652,168		648	5,652,816
	後期高齢者医療	318,701			318,701
	介護保険	3,507,367		3,861	3,511,228
	下水道	460,259		1,908	462,167
	三島航路	130,735			130,735
	農業機械銀行	137,589			137,589
	合計	10,206,819		6,417	10,213,236
一般会計・特別会計の合計	37,178,811	52,655	229,048	37,460,514	

### ○平成29年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	10月補正額	12月補正額	補正後予算額合計
水道事業	収益的収入	978,309		△ 11,042	967,267
	収益的支出	965,912		1,652	967,564
	資本的収入	120,539		5,941	126,480
	資本的支出	257,472		13,808	271,280

## どえな予算のあと？



### 吉岐市立一支国博物館空調設備改修 1,220万円 (うち県費732万円)

平成30年1月13日から文化庁主催の『発掘された日本列島2017』の開催が決定しており、展示スペースを含む施設内における最適な空調管理が求められているため、故障中の空調設備1台を修繕する。

### 公共土木施設災害復旧事業支援業務委託 2,000万円

早急な災害復旧工事を実施するために、工事に関わる設計図書・関連資料の作成および工事施工中の支援業務について民間へ委託する。

### 勝本ふれあいセンターかざはや管理費 1,800万円

特養ホーム建設予定地のゲートボール場の代替施設として、かざはやに全天候型ゲートボール場を整備しているが、鋼材の増と資材の高騰により補正が必要となった。

### 保育所等整備交付金事業 4,608万2千円 (うち国費4,096万2千円)

一般社団法人めぐみ保育園が、既存の保育園横に新たに定員19名の小規模保育施設を創設するため、経費の一部補助を行い、0歳～2歳児の低年齢児の待機児童の解消を図る。

### 新構造改善加速化支援事業 583万9千円 (うち県費467万1千円)

農林業の一層の発展にむけて「収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策強化」等を推進するため、農業者の営農活動に必要な施設・機械等の導入を支援する。

### 渡良小学校校舎屋根防水改修工事 826万2千円 (うち地方債780万円)

安全で安心して学べる教育環境の充実を目的に、経年による老朽化や自然災害等による劣化で修理が必要となったために改修する。

# 委員会レポート



## ■総務文教厚生常任委員会

12月会議で付託された議案8件、要請1件、陳情1件を審査した。議案第66号は否決、その他の議案7件は可決した。また、要請及び陳情は不採択とした。

### 【委員会意見】

議案第66号については、平成17年以降報酬等の検討・見直しを行っておらず、名古屋市特別職報酬等審議会が開催され、他の類似自治体と比較しても本市の議員報酬等は県下最低水準であることなどを総合的に判断し、この度改定の答申がなされた。

委員会では「報酬審議会の答申を尊重すべき」、「市長等の報酬に関しては見送り、議員だけの報酬を上げることで足並みが揃っていない」等の意見があり、採決の結果否決とした。

要請第2号は、本年末で難病医療費助成制度の経過措置が終了し、平成30年1月1日よ

り原則適用となるため、当分の間動向を見守るため不採択とする。

陳情第3号については、国の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が施行されたことに伴い、名古屋市では高齢者の方をはじめとする地域性の維持確保などを目的に地域住民にとって利便性が高く持続可能な公共交通網の再構築を目指すための「名古屋市公共交通網形成計画」を策定中である。現在計画策定中であり、今後はその動向を注視すべきであると考え、不採択すべきものとした。



総務文教厚生常任委員会の様子

## ■産業建設常任委員会

12月会議で付託された議案6件、要望1件を審査した。議案6件は可決、要望1件は不採択とした。

### 【委員会意見】

要望第7号は、原油価格高騰の兆しは認め

るが、現段階における漁業用燃油価格及び今後の見込みを推察する限りでは、今年度当初と燃油価格に差異がないため、不採択とする。

なお、執行部は今後極端な価格上昇が生じた場合、その時点での状況や漁業者を取り巻く環境を適正に把握し、必要に応じた対策を講じること。

## ■予算特別委員会

大浜海水浴場駐車場用地の土地購入理由や、勝本町かざはやの全天候型ゲートボール場建設の工期などの議論が交わされたが、全会一致で可決となった。

### 【委員会意見】

会計実地検査により、緊急雇用創出事業委託料の補助金返納の事態となったことに関して、今後このようなことがないように担当課等で十分精査し、補助金返納がないよう努めること。

## 議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果
10月	報告第16号	平成29年度壱岐市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告について	省略	10/11 報告済
	議案第61号	大谷公園体育館耐震改修工事請負契約の変更について	省略	10/11 可決
	議案第62号	平成29年度壱岐市一般会計補正予算(第7号)	省略	10/11 可決
10月 第2回	議案第63号	長島地区放射線防護対策施設整備工事(建築主体工事)請負契約の締結について	省略	10/27 可決
	議案第64号	平成29年度壱岐市一般会計補正予算(第8号)	省略	10/27 可決
12月	議案第65号	損害賠償の額の決定について	産業建設	12/19 可決
	議案第66号	壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/19 否決
	議案第67号	壱岐市附属機関設置条例の一部改正について	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第68号	壱岐市税条例の一部改正について	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第69号	壱岐市営住宅条例の一部改正について	産業建設	12/19 可決
	議案第70号	公の施設の指定管理者の指定について(壱岐市芦辺浦住民集会所)	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第71号	公の施設の指定管理者の指定について(壱岐市高等職業訓練校)	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第72号	公の施設の指定管理者の指定について(壱岐市自動車教習場)	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第73号	公の施設の指定管理者の指定について(マリンパル壱岐)	産業建設	12/19 可決
	議案第74号	公有水面埋立について	産業建設	12/19 可決
	議案第75号	平成29年度壱岐市一般会計補正予算(第9号)	予算特別	12/19 可決
	議案第76号	平成29年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第77号	平成29年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	12/19 可決
	議案第78号	平成29年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	12/19 可決
	議案第79号	平成29年度壱岐市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	12/19 可決
	要請第2号	「難病医療費助成制度の改善を求める意見書」提出のお願い	総務文教厚生	12/19 不採択
	要望第7号	漁業用燃油に対するの応分の支援に対する要望	産業建設	12/19 不採択
陳情第3号	住民の日常生活や外出を支援する生活交通の確保についての陳情	総務文教厚生	12/19 不採択	

## ※ 賛否(賛成、反対)のあった議案

○・・・賛成 ×・・・反対

議案名番号	山川 忠久	山内 豊	植村 圭司	清水 修	赤木 貴尚	土谷 勇二	久保田 恒憲	呼子 好	音嶋 正吾	町田 正一	鶴瀬 和博	中田 恭一	市山 繁	牧永 護	豊坂 敏文	賛 成	反 対	結果
議案第66号 壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	4	11	否決
要望第7号 漁業用燃油に対するの応分の支援に対する要望	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	1	14	不採択
陳情第3号 住民の日常生活や外出を支援する生活交通の確保についての陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	1	14	不採択

小金丸益明議員は議長のため採決には入りません。

## 【議案第66号】

## 賛成討論

- ・議会における報酬に関する一貫した考え方と、今回慎重に審議された答申を反故にすることなく尊重すべき。
- ・特別職の報酬については、市長や議員等が個人的な都合などで上げ下げできないよう報酬審議会の答申を受ける形であり、答申を尊重しないのであれば、何をもって議員や市長等の特別職の報酬が決定されるのか不透明になる。
- ・答申の中で、報酬の改定にあたり壱岐市活性化のため更なる活躍を期待するとあり、このことを力強く受け止め、また、真摯にも受け止め、これから壱岐市の発展のためにやっていくつもりである。

## 反対討論

- ・他市よりも低く、本来なら上げてほしいと思うが、1次産業が低迷しており時期が今ではない。市長と同じく、もう少し壱岐の経済状況の様子を見てから判断しても遅くない。
- ・審議会の意見は尊重したい。他の市町と比較してあるが、我々はあくまでも壱岐の議員である。壱岐市にあった報酬であるべき。中期財政計画や島の状況を考えると今はその時期ではない。
- ・報酬審議会の答申は尊重するのであれば、市長等三役と議員報酬ともに提案されるべきである。市民とともに苦楽を共にするべきということで時期尚早である。

# 行政視察に行ってきました!!

## 総務文教厚生常任委員会 (平成29年11月6日～11月8日)

### 中村学園三陽中学・高等学校 (福岡市)

**調査事項：タブレットを使ったドリル学習について**  
平成28年度にタブレット端末iPadを生徒に配付して、授業、個別、自宅学習、家庭と学校のコミュニケーションの活性化を推進している。個別学習では、デジタルドリルや学習支援システムを使い、生徒一人ひとりが自分のペースで基礎・基本を確実に習得し、発展的学習を通して「思考力」「判断力」「表現力」を身に付けている。学習支援システムのグループ機能を利用して、学校と生徒・保護者の情報共有も図っている。

#### 【委員会の所見】

タブレットを使用したドリル学習が子ども達の学習面、先生方の指導において効率、能率共々大変効果的に使われていることを認識した。壱岐市においても、子ども達の学習環境、学習レベルの向上等にICTを利用した学習環境整備に取り組む必要がある。学習面以外においても、学校と保護者連絡や不登校の子ども達への対応など、効果的な成果も認識した。早急に検討、対応の必要性を検討すべきである。

### NTTドコモ 九州支社 (福岡市)

**調査事項：災害対策への取り組みについて**  
【委員会の所見】

近年は様々な災害が起こりうる可能性がある中で、災害時の安否確認や災害情報発信にSNSからの情報発信が重要視されている。NTTドコモが停電時における基地局等の電力設備強化において、「基地局の無停電化」「バッテリーによる24時間化」の取り組みが確認できた。有事の際においても情報発信等が早急に行え、災害の規模拡大等の対策に非常に有効だと確認したところである。今後は、災害時に壱岐市とNTTドコモが連携を図る必要があると感じた。



NTTドコモ九州支社でICT研修

## 産業建設常任委員会 (平成29年11月15日～11月17日)

### (株)玉造温泉まちデコ(民間まちづくり会社) (島根県松江市)

**調査事項：玉造温泉を活用したまちづくりの取り組みについて**

約10年前から始まった温泉街衰退を契機に、地域にある資源「美肌・姫神の湯」を活用したまちづくりに取り組み、今では活気ある賑わい豊かな温泉街へとよみがえった経緯を視察した。

従来のチラシやポスターを全て廃止し、写真を一切使用しないイラストのみのパンフレットを作成したり、若者等のSNSでの情報発信力を利用し、温泉街へ神話に基づくオブジェ等を制作。他にも、島根大学の学生の協力による大学生の卒業旅行誘致やボランティアによる環境保護活動など様々な取り組み

がされている。

#### 【委員会所見】

「玉造温泉のお客様は全て自分たちのお客様」という理念による対応が、また訪れたいくなるような気持ちにさせ、温泉街を復活させた一番の要因と感じた。今回は、観光協会を中心とした組織の見直しからスタートした事例であるが、本市においても学ぶことが非常に多く、所管の担当部課と協議、検討し本市観光振興に役立てたい。

### 観光センターいずも (島根県出雲市)

**調査事項：出雲大社まち歩きガイドの取り組みについて**

#### 【委員会所見】

「観光センターいずも」という土産店専属ガイドの案内であったが、出雲大社の歴史や作法に精通しているため、効率的に出雲大社の知識が深まった。神社の規模が違いはするが、ガイドを要する観光地等は本市にも点在するので、必要性やその組織づくりなどを含めて市内全域で検討していく必要があると感じた。ワンランク上の観光地となるよう担当部課とも引き続き協議していきたい。



まちづくりの取り組み内容の説明を受ける委員

## 議会運営委員会 (平成29年10月31日～11月2日)

防府市議会 (山口県) 糸島市議会 (福岡県)

調査事項：(1)議会報告会のあり方について  
(2)その他の議会の広報活動について

山口県防府市議会においては、議会報告会を地域ごとに6カ所を対象とし、それぞれ年1回開催。時間を1時間30分に設定。議員が数グループに別れて、2カ所に出席し対応している。また、テーマを必ず設定し、それについて市民の意見を聞いている。ただし、予算の編成は議会での対応ができないので、行政への要望を伝えることのみ限定している。地



糸島市議会での研修

域の要望等、テーマと違う発言への対応は、報告会終了後に個別の議員が対応している。ケーブルテレビ等がないので、議会の活動は議会だよりと報告会のみで引き続き継続していく。参加者の減少は、テーマを決めて、団体や地域の区長等に呼びかけて徐々に減少幅が少なくなっている。地域の区長の熱意の差によって参加者数にも大きな差がある。

2日目の福岡県糸島市議会では、行政と一体となった議会だよりであり、市政だよりの中の一部に議会だよりを掲載するという方法であった。議会報告会も本年度から実施しているが、福岡市のベッドタウンで、住民異動が激しいことから参加者は少ない。報告会よりも議員個人の対応がどうしても中心になっている。

### 【委員会の所見】

それぞれ地域のあり方により報告会や広報活動も差異があり、ケーブルテレビの状況、議会だより等の編集も含めて議員が実施している壱岐市とは違いがあるが、報告会のあり方、テーマ別に各種団体等に呼びかけるなど、壱岐市議会においても、先進事例を参考にし、議会報告会開催方法等の見直しやテーマを明確にするなど、今後のあり方を研究・検討していく必要があると感じた。

## 議会広報特別委員会 (平成29年11月13日～11月15日)

長崎新聞社 (長崎市)

調査事項：議会だより編集について

### 【委員会の所見】

長崎新聞社から広報紙づくりの基本について細かい指導を受け、疑問点について回答を得た。本委員会の委員のうち、ほぼ半分が編集作業に携わった経験が少なかったが、編集や構成のポイント、写真の使用方法等が具体的に理解でき大変有意義だった。議会だよりが、少しでも市民に読まれ、分かり易く情報が伝わるように、工夫を重ねていく必要があると感じた。基本だけでなく、実践的な理解が深まり、今後の広報紙づくりの参考になった。

嬉野市議会 (佐賀県)

議会活動の状況を市民に周知し、あわせて議会に対する市民の理解と認識を深め、開かれた議会の充実を図る目的で議会だよりを発行。また、議会報告会(議員と語ろう会)の時に、活動内容を伝えるツールとして使用している。嬉野市議会のモットーは、「議員が変われば議会も変わる。議会が変われば行政も変わる。行政が変われば嬉野市も変わる」(会して議

し、論じて決し、議して論じ、決して行う)この気持ちで、確実に議会改革を行っておられた。

### 【委員会の所見】

見出しの付け方、文字のフォントや大きさのメリハリ、写真の配置、レイアウト(横書きや縦書きの混在)等が秀でており、大変参考となった。嬉野市の広報紙には、毎号「中学生の声」が顔写真つきで掲載され、読者の関心を引く工夫もされている。壱岐市議会広報紙も、さらに工夫を凝らし、市民になるべく手に取って読んでもらえるように努める必要があると感じた。



嬉野市議会の説明及び意見交換



# 一般質問

13人が登壇

## 「市政を質す」

一般質問とは、普段の議員活動の中で考え得たことを公表し、市政に関する疑問点を質し、市民の要望に叶う施策を問う場。



呼子 好議員

### 質問 渡良地区に学童保育の新設を

#### 答 財政的に無理

**呼子** 地域住民の活性化のために子どもを持つ親からの切実な願い。学童保育の29年実績と30年の見込みは。旧小学校講堂の腐食について解体か売却もあるのか。

**市長** 事務所は耐震化し、空調設備も整備している。保育所の移転計画もない。学童保育の平成29年実績見込みは、市全体の登録者数が238名、月平均140人の利用。旧小学校講堂は、解体撤去する。

#### 市有地、市施設の利活用進捗状況は。

**呼子** 壱岐市全体の8.4%が市有地で、その膨大な土地が遊休地となっている。特に、かたばる病院や旧公立病院跡地、特養ホーム跡地、大清水周辺、亀石地区周辺の土地の利活用や売却の検討は。

**総務部長** かたばる病院跡地は地域生活ホーム「ひまわりの家」と壱岐障害者地域活動支援センターひまわりが利用。旧公立病院跡地は観光連盟に貸

与し一般市民にも開放している。土地の具体的な目的はなく、民間への売却も含め見直していく。

#### 農業振興には法人化組織が必要

**呼子** 生産集団38団体、認定農業者286名が一体となり法人化組織を推進し、高齢者が安心できる若者が定住しやすい環境づくりを。認定農業者を核とし、高齢化・後継者をどうするのか国境離島新法をよく理解し指導が必要。生産集団の田に牛舎を作り集団で管理することはできるか。

**農林水産部長** 地域農業を守ることが大切。集落営農組織が44組織あり内23組織が法人化しており認定農業者が核となり指導が必要。21世紀圃場に牛舎建設は事業完了後8年経過しておれば補助金返納はないが、所要の手続きが必要。

#### 博多ベイサイドの待合室の椅子席について

**呼子** 運賃低廉化で乗客が増えている。待合室の拡張と椅子の増設について、福岡市と九州郵船に要望しては。

**総務部長** 椅子は福岡市が設置しているので、他の運航事業者との兼ね合いもあり調整が必要。今後、状況をみながら九州郵船と連携をとりながら対応していくことになるかと考える。



赤木 貴尚 議員

**質問** 病人搬送等横臥による運賃割増しについて

**答** 初めて聞いた話である

**赤木** 彦根市航路対策協議会において九州郵船からの説明はあったのか。

**市長** 九州郵船からの説明はなかった。自由席の時は、ケースバイケースで対応していたとのこと。

**赤木** 「高速船での病人搬送等横臥による運賃割増し」について彦根市航路対策協議会を開く考えは。

**市長** 緊急で開催もできるが、12月14日に開催予定。この件を上程し審議する。

**赤木** 運賃割増しを病人(彦根市民・島外者)が



病人横臥状態の座席(ジェットフォイル)

負担する事に対しての考えは。

**市長** ドクターヘリ、県防災ヘリは負担が生じなく、この度の高速船での搬送において負担割増しは不公平感がある。

**赤木** 運賃割増し負担で、世帯収入の低い方等が、高速船搬送を苦慮される可能性も考えられる。市民負担軽減の考えは。

**市長** 収入にかかわらず運賃割増しは大きな負担。補助金整備は、現在の運賃が補助対象で二重交付に当たる可能性もある。

**赤木** 今回の「運賃割増し」通知が、病院のみに通知されていることは問題と考えるが。

**市長** 同感である。総務部長から九州郵船へ問題提起した。

**赤木** 彦根市航路対策協議会委員に医療福祉関係者も含むべきだと考えるが。

**市長** 今後は、必要に応じて関係者に意見を聞く。

**赤木** 一日も早く負担軽減のための対策を要望する。

平成29年12月28日付にて九州郵船社長より彦根市航路対策協議会長(彦根市長)へ割増運賃改善の回答がっております。改善内容：病人搬送等横臥による座席数分(大人4人分等)の運賃から、人数分の運賃に変更。



鵜瀬 和博 議員

**質問** 福岡事務所長再配置を

**答** 平成30年度機構を検討する

**鵜瀬** ①現在、福岡事務所長は観光商工課長兼任。事務所機能は重要。事務所長を再配置すべき。

②市長特命課の地域振興推進課の成果、道筋も見てきた。観光定住振興はマンパワーが必要。廃止して観光商工課と政策企画課に配置転換を。

③人材確保のため地域おこし協力隊の追加公募を。

④観光振興を全島的な取り組みのため観光商工課と観光連盟のワ

ンフロア化を。  
⑤施設整備と営業に特化したスポーツ推進班設置を。



新しい福岡事務所内の様子

**市長** ①事務所の重要性認識。30年度再配置検討。

②変革の時代に素早く対応し、新たな事業を積極的実現推進のため必要。

③4名採用予定。

④官民の区別がつかず、費用対効果の観点を含め適切でない。

⑤関係者と連携を図り、現体制で効果の高い方策を検討する。

**公営住宅等長寿命化計画について**

**鵜瀬** ①計画推進には入居者と十分な合意形成が重要。一部合意形成が厳しく、公民館が要望書提出。今後の対応は。

②昨年12月会議の市長答弁の民間業者へ相談の結果は。

③将来的に指定管理者制度を導入し、不動産業者と市内工務店と連携した空き家リフォーム事業等新たな雇用や経済波及効果が生まれるのでは。

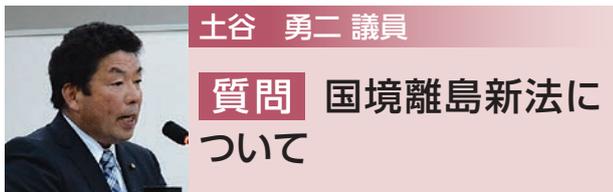
④国の財政支援可能な新PFI手法を活用し、市遊休地に民間建設の一戸建やアパートを地域優良賃貸住宅として一定期間借用し、民間が維持管理を行い、最終的に所有権譲渡すれば定住につながるのでは。

**市長** ①入居者からの意向、住宅劣化調査等を参考に見直しを検討する。

②相談の域を脱しきれない。

③他自治体の運用実施状況を研究し、検討する。

④民間からの様々な提案も含め新PFI手法を研究する。



土谷 勇二 議員

**質問** 国境離島新法について

**答** 定住拡大に向けた人材確保を支援する

**土谷** 新法の壱岐市雇用機会拡充事業で、創業3件10名、事業拡大22件77名の雇用が生まれる。ハローワークの求人と雇用拡大事業の求人を合わせると雇用人材確保はできるのか、どのような支援をしていくのか。

**企画振興部長** 創業事業拡大に伴う人材確保は、現在、61名程度の雇用内定状況。島内在住者では雇用が厳しく、島外のUIターン者を獲得する必要がある。平成30年1月に福岡市内で移住定住相談会を開催予定。また、新卒で1年間壱岐に定住・働くと10万円、採用した企業にも月額2万円を支援する制度を設置した。

**市長** 1人でも多くの定住を図ることが市政の基本方針、定住拡大に向け人材確保に積極的に支援、応援していく。



中田 恭一 議員

**質問** 待機児童の解消を

**答** 認定こども園の設置を急ぐ

**中田** 保育所に入れない待機児童が増えている。子育て支援の面からも早急な対応が必要。

**市長** 市だけの対応では難しい面もあるので、民間活力にも期待する。早く幼保連携認定こども園をつくって幼稚園・保育園の垣根を取り払い、一人でも多く受け入れる体制をつくらないといけない。

**島民カードを家族カードに**

**中田** カード時代で、たくさんのカードを所有するようになってきた。住基カード(住民基本台帳カード)とのデータ共有はできないのか。できなければ、子どもの分については家族カードにできないのか。

**総務部長** カードの利用については県・国と協議したい。

家族カードについても、混雑緩和・事業者の負担

**自治公民館の統合再編について**

**土谷** 公民館の世帯数も減っており行政が主となり地域担当職員を交えて統合再編すべきでは。

**企画振興部長** 公民館組織は自主的な組織であり、統合再編に積極的に関わることができない。自主的に統合を進められる自治公民館をモデルとし、合併交付金や統合で減額となる均等割額の減額緩和措置など、財政的支援等を研究・検討していきたい。

**市長** 早く統合した場合は、経過措置を設けるなど一定の要綱を作成し、地域担当職員等に話をさせる方法もある。

**木質バイオマス発電について**

**土谷** 資源活用補助事業の概要、報告書が出た。道路維持管理で高枝伐採の活用、間伐材の活用との事だが燃料になるだけの木材の供給が足りない。専門の知識を持った人材の育成など必要だが、計画通り行うのか。

**市長** 壱岐市における低炭素の島づくりの促進木質バイオマスなど再生可能エネルギーや水素エネルギーの導入を図るためには、人的な対応も含め早期実現に向けた計画的な事業の推進を検討して行く。

も考え県内統一を図りたい。

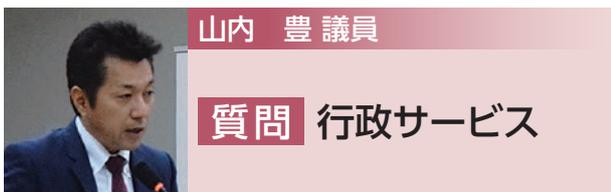


現在発行中の島民カード

**福岡事務所の統合は**

**中田** 壱岐・対馬・五島それぞれの島が別々の事務所を所有している。合同で事務所を開設すれば、今の家賃でも条件のいい場所が借りれるし、情報交換をしながら、合同のイベントも企画しやすいのでは。

**市長** 現在でも情報交換や合同イベントも行って実績を上げている。1階を借りたかったがやはり家賃が高くなる。3島合同なら、1階も可能になる。各島の意向もあるので、壱岐市から提案をしてみたい。



**答** 様々な変化に対応しながら適宜見直す

**山内** 市の行政サービスには様々なものがあるが、それらがどのようにして制度化され、また、効果検証・見直しはどのようにされているのか。そして、その流れは。

**企画振興部長** 公共性・妥当性と様々な観点から検証することが必要であり、市民生活の影響やまちづくりの方向性等を総合的に判断して行っている。市民の価値観や感覚の変化に対応すべく意見も取り入れながら見直しを行っている。

### 他自治体「行政機関」との制度の比較について

**山内** 次世代を担う中学校卒業までの支援制度の中で他自治体と比べて見劣りしない、ましてや勝っているものは。

**教育次長** 幼稚園の授業料は、独自の経過措置で上限4,200円。新規事業として、中学校の英検受験料の補助。



**答** 状況判断は次年度に検証

**清水** 総合的にみた推進状況は。

**企画振興部長** これまで課題であった仕事の分野での創業や事業拡大がみられるようになり確実に進めている。

**清水** 総合戦略における「教育のしまプロジェクト」の進捗と見通しは。

**教育次長** ①教育の質の向上では、小中学校へ電子黒板の配置を進めている。

②郷土愛の育成は、将来Uターンできるような壱岐の歴史文化を取り入れたカリキュラムを各学校の実態に応じた実践で育成。

③新たな教育機関等の誘致では、こころ医療福祉専門学校を開設。

④教育費に係る負担軽減では、奨学金の利用において他の奨学金制度と併給貸与ができるように基準緩和し2.4倍に。貸与型とは別に新たな給付型を検討。

⑤離島留学制度の推進では、現在、東アジア歴史中国語コースに17名在籍。離島活性化事業等による

**市民部長** 独自事業で8項目ある。中でも、対象年齢を拡大したこども福祉医療費制度などは見劣りしない。

### 特定不妊治療費助成事業について

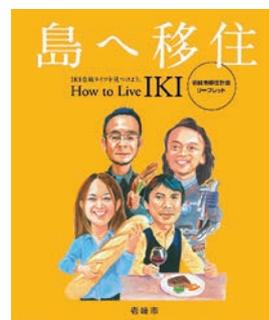
**山内** 今年度の新規事業であるが、これまでの申請状況。県の助成を受けないと申請できないのか。ストレス軽減の面からも独自の制度の新設は。

**保健環境部長** 現在、県の申請は2名で3件。市への申請はまだ上がってきていない。経済的負担軽減という考えから、まず県の助成の決定を受けた方を対象としているが、申請の方法はこれから検討していく。

### 行政サービスの商品化について

**山内** 移住定住の促進に向けてサービスを売りに呼び込むプランの考えは。

**企画振興部長** 移住体験や滞在型観光を通して、いろいろな方々と触れ合い、壱岐の良さを知っていただき段階的に進めていくようにしている。



壱岐市移住リーフレット

PR広報が充実し、体験入学では8名→25名に増。

### 「教育の島」壱岐の推進

**清水** 壱岐の売りとして「教育の島」をもっと進めるべき。

**教育次長** 壱岐市教育の売りは「課題を見つけ調べて解決する」問題解決的な学びを習得し、外国でも交流できる子どもの育成。

**清水** 島の宝である子どもを育む教育予算が教育現場に少ない。

**市長** 「第1子の保育料を除く幼児教育の無償化」を掲げているので、この実現へ恒久財源確保を担当課に研究させている。

**清水** 学校給食無料化について。

**市長** 給食費負担軽減を公約として子ども複数家庭から軽減するとか研究中。実施時期は保留。

**清水** 学校図書館教育の充実は。

**教育次長** 25年度から図書費を倍増し26年度からは学校司書3名を配置。今後も継続して充実を図る。

### 「合宿の島」実現について

**清水** 実現に向けた陸上とサッカーの競技場建設を、筒城浜を含めて検討しては。

**企画振興部長** 筒城浜公園は現状維持が妥当。別組織で検討すべき。



久保田 恒憲 議員

**質問** 6次産業は重要

**答** 県産品認証品への取り組みも進める

**久保田** 農産物の加工食品として長崎県は「長崎四季畑」の認証を行っているが、6次産業化への取り組みを問う。

**農林水産部長** 全国的に誇れる農産加工品として「長崎四季畑」の認証を受けているのは、本市では壱岐ゆづ生産組合の「ゆべし」がある。農畜産業の活性化には、6次産業の推進が必要なので様々な支援を行っていききたい。



長崎四季畑のロゴ

**久保田** 私もこの四季畑の公募審査員になったことで県各地域の積極的な取り組みと認証品の美味しさやレベルの高さを知ったので一般質問で取り上げた。ライバルの対馬や五島では、



ゆべし

認証品がいくつも出ているので、本市も遅れないようしっかり取り組んでほしい。また、新しいオリーブも出てきているので、市も関心をもって支援を考えてほしい。

**歴史や伝統文化で活性化を**

**久保田** 交流人口の増加には個性ある島を打ち出すことが必要だが、原の辻に代表される弥生時代以外の歴史の掘り起こしも大事と考える。身近な伝統踊り石田の鯛網音頭の継承や、地域での鬼だこ揚げグループ等との連携で活性化できないか。

**教育次長** 当市は文化財の宝庫であり、希少な歴史遺産を島外に発信する取り組みや市民参加の事業にも力を入れている。伝統行事継承は地域振興にも役立つので、今後も有効な対策を図りたい。

**企画振興部長** 観光消費がもたらす経済効果は大きいので、壱岐独自の着地型観光サービスの開発に取り組んでいる。

**久保田** 外国人向けにも、日本らしさ壱岐らしさは必要と考えるが。

**市長** 壱岐のアイデンティティーを売り出さなくては。との考えには共感する。島内には歴史的神社が数多く存在するので、これらを活用する施策を考え実行していききたい。



市山 繁 議員

**質問** 幼児教育の無償化

**答** 早急に検討していきたい

**市山** 平成29年度の待機児童は14名とあるが内訳は。

**市長** 内訳は、0歳児10名、1歳児1名、2歳児3名。今年度は子ども子育て支援事業計画の見直し作業を進めている。

**市山** 幼児教育無償化に伴い、入園希望増加が予想される。早急な整備と保育士の確保対策が必要である。

**市長** 無償化や女性の社会進出が増えれば保育所不足は明らか。保育士確保と処遇改善の意味からも、幼児教育、保育の質の向上と量の確保のためにも、民間力の活用は必要不可欠で、民営化の検討も必要。



元気いっぱい遊ぶ保育所の園児たち

**島内の婚活事業について**

**市山** 人口減少対策は結婚が源泉。現在、島外女性を対象としているが、島内には多くの未婚男女がいる。原点に戻り、島内同士の婚活事業を実施しては。

**企画振興部長** イベント内容を工夫し、市内女性も対象とした参加しやすい内容を計画したい。

**ふるさと応援寄附金について**

**市山** 返礼品が過熱化し、総務省から通達もあった。返礼品も大切だが島民の心の絆で呼びかける推進が必要では。

**企画振興部長** 島民の皆様にも推進いただくとありがたい。寄附金がどのような事業へ活用されているかを理解いただくことで思いが深まると思う。

**クラウドファンディングの協力について**

**市山** クラウドファンディングを実施するには、ふるさと納税と同様に政策企画課の指導と協力ができるか。

**企画振興部長** ふるさと納税でなくても使い道が明確であれば実施・調達は可能。

**市山** 交流人口拡大のために小島神社の周辺整備が支援目的。

**企画振興部長** 周辺整備については、ふるさと納税の活用は可能である。来年度見直しの観光振興計画に盛り込んでいきたい。



豊坂 敏文 議員

**質問** 第1次産業の課題

**答** 農水産業の振興策に全力を尽くす

**豊坂** 農業用ため池、河川の総点検と整備について実態調査が完了している中、現況の改修進度ではだめだ。農家戸数が減少する中、受益農家に係る工事負担増になっている現況のもと、早急的課題改善に政策的対応をすべき。具体的に、老朽ため池の堤体、水栓改良、安全柵設置、沈殿土石除去、余水吐改修等、河川についても、堆積土石除去と施設の老朽箇所改修が緊急的課題である。担当部長等の対策はいかに。河川も同様。

**農林水産部長** 老朽化が激しい箇所については改善していく。

**副市長** 河川災害復旧箇所につきましては、特に2次災害が発生される箇所から堆石土、石れきの除去を計画中。

**第1次産業の人口減少対策について**

**豊坂** ①農業振興については、畜産飼育頭数の維

持策と将来的に推進品目の樹立実践策は何か。畜産経営の維持は、農業法人または生産組合等経営体も思案し実行すべき。また、推進品目として、施設園芸の中では「イチゴ、メロン、アスパラ、ミニトマト、菊」等があり、露地作物は「玉葱」水稻では今年も1等級100%の「つや姫」と「にこまる」が上位であり高温耐性品種の作付振興大と思慮するが。

②水産業の振興については、対馬市の「ヒジキ」の陸上プールでの研究実験もある。杵岐の沿岸海域の海藻類が絶滅の中、県、市、5漁協が一体となり今実践すべきと併せ1.5次産業化の加工業の確立に国境離島法の活用により雇用の場創りをなす時だ。

**農林水産部長** 関係機関と連携し、大規模農家の育成と新規参入の推進等を図り、繁殖牛飼育頭数の維持を図っていききたい。漁業の安定生産の為、漁港・漁場の総合的な整備や魚の産卵場所となる藻場造成など漁業環境の保全に努める。



「長崎県畜産クラスター構築事業」を活用した牛舎（100頭規模）等の施設



町田 正一 議員

**質問** 中学生の学力向上

**答** 問題解決への意欲の徹底がまだ不十分

**町田** ①杵岐市の中学生の学力の状況。  
②学力向上に向けて、モチベーションを高めるための方策。  
③中学生を対象に短期の留学制度等を検討しては。  
④学力調査で、毎年、最上位の秋田県と杵岐市での取り組みに違いがあるのか。

**教育長** ①国語においては全国平均との差は縮まっており、一部は上回っている。数学は未だ平均に達していない。英語は、県下最下位をやっと脱した状況。

②モチベーションの向上の必要性は認識している。教育委員会としても数度にわたり方法を検討したマニュアルを現場におろしている。

③外国への短期留学は、安全性も含めて検討課題としていきたい。

④秋田県では、類似問題の反復、習熟を徹底している。その差だと考えている。

**杵岐市の文化政策について**

**町田** スポーツイベントに比べて、文化文芸への予算措置が貧困。社会教育、生涯学習を担当する部署の対応。

**教育次長** スポーツに比べて、文化面での予算措置が少ないとは考えていない。社会教育課は7名の体制で対応しているが十分とは言えない状況。



第19回日韓国際交流文化祭

**長崎県のリフレッシュ割引について**

**町田** 本土に通院する時に県独自のリフレッシュ割引があるが、一次医療機関（入院設備がないクリニック等）の証明では対象になっていない。杵岐病院等の二次医療機関の証明が必要。そういった病院がない芦辺町では割引がない。整合性がとれない。早急に県と対応を協議すべき。

**市長** 杵岐だけでなく新上五島町、小値賀町も一次医療機関しかなく割引の対象となっていない。平成28年に私も知事に要望している。中核病院を守るという目的があるにしろ要望をしていきたい。



植村 圭司 議員

**質問** 中学校通学の考え方を再検討すべき

**答** 今、再検討は必要ないと考える

**植村** 中学校への通学で、長距離で徒歩、短距離でスクールバスの生徒がおり、矛盾。市民の中には「同じ市内で、通学環境が不公平」と考える方もいる。統廃合からもう6年経ち、当時の児童、生徒、保護者はほぼ入れ替わった。新芦辺中の整備でスクールバス運行規則の変更も必要。那賀地区で実績のある自転車通学を復活するなら、他町との整合性も図るべき。この際、市内統一的な「通学距離に応じた通学方法」を検討しては。

**教育長** 中学校統廃合時「母校がなくなって、新しい場所にひとまず通学を余儀なくされる子どもにはスクールバス」と納得した経緯がある。現在、最長5.2km徒歩の生徒



スクールバスで帰宅する中学生

がいる。芦辺中は統廃合時、自転車通学の要望もあり、新しい学校の方針のもと実施で決まっている。他町は深い論議はなかったと思う。通学の平等性を求める「線引き」の議論を今しても、平成24年検討時と同じ結果と予測するため、新たな検討会は開く必要はないと考える。まだ6年しか経っていない。統廃合時の考え方を大切にすることが、行政の当然の役割というものもある。

**植村** 「線引き」の問題は難しいが、難しいから立ち向かって考えるべき。子どもの環境を第一に考えるべき。地域によらず、通学距離の違いで通学方法を変えろということが説明しやすい。

**教育長** 難しいから後延ばししている気持ちはない。

**植村** 今後もこの問題は投げかける。

**空路確保について**

**植村** 現在就航中のORCの航空機機材が退役する。更新機材など対策について国、県、航空会社等と危機感を持って交渉できる担当者が必要と考える。専門部署を設けてはいかがか。

**市長** 機材はORCがANAに相談をしている。「空路を絶やしてくれるな」と要求することが、私の役目。



音嶋 正吾 議員

**質問** 危機に瀕する国境離島

**答** 国・県の関係機関との連携体制構築が不可欠

**音嶋** 外国人（韓国・中国）による離島の土地買収の手が忍びよっている。現況認識と条例制定の防御策の制定を。

**市長** 国会においては問題になっているが、本市では買収事実を把握していない。条例の制定については、世界貿易機関、WTOに抵触する恐れがあり、国で対策を講じていただきたい。

**音嶋** 東アジア情勢は不安定である。朝鮮半島からの大量の難民対策、玄海原発と至近距離にある。リスクが極めて高い。住民・主権・領土を守る観点からも、自衛隊の誘致を検討すべきではないか。

**市長** 原発の安全対策と自衛隊の配置は別問題。離島における自衛隊の存在は、市民の安全・安心により効果的。さまざまな機会を捉え、誘致を働きかける。

**離島軽視の美辞麗句施策**

**音嶋** 有人国境離島新法制定を手放しで喜ぶのは時期尚早。ジェットフォイルは建造から32年が経過。機関故障が頻発している。離島民の高速交通体系の崩壊につながる危機的事態。早急なる対応が求められる。

**市長** 関係各種団体と結集して、国に対して働きかけを強力に推進する。

**音嶋** 島外客に対しても準島民、島民並みに航路・航空路運賃の低廉化を実現できるよう要望すべき。

**市長** 新法制定に5年の歳月を要し制定にこぎつけた。忸怩たる思いである。今後、議会と一丸となって実現に向けてエネルギーを傾注していきたい。



現在運航中のジェットフォイル

・お・知・ら・せ・

## 第5回 議会報告会を開催します!!

今回は、常任委員会ごとに開催します。

今回のテーマに対し質疑のあられる方は、事前に受付を行いますので、2月2日までに議会事務局へFAX、メール等でお寄せください。

FAX：0920-42-0096、メール：iki-gikai@city.iki.lg.jp

### 総務文教厚生常任委員会

2月13日 (火) 午後6時30分～

場所：壱岐の島ホール2階 大会議室

テーマ：老人福祉・子育て支援について

### 産業建設常任委員会

2月14日 (水) 午後6時30分～

場所：勝本町ふれあいセンターかざはや AVホール

テーマ：農業全般について

**市民の声**

「議会だより第55号」クイズ応募者より  
11月30日までにいただいた  
ご意見ご感想です。

子ども議会の質問・  
提言すごく読みがいがあり、そのことに対して答弁も  
分かりやすく良かったです。これからの壱岐市を支えていく子  
ども達の発言の場があり、それ  
に対して考えて答弁して参考  
にさせていただける議会であ  
ってほしいです。  
(48歳)

編集後記の「小  
学4年生以上が理  
解できるように」の  
合言葉。とても良い  
と思いました。  
(40歳)

「第2回ウルトラマラ  
ソン」に、子どもがボラン  
ティアとして参加しました。あ  
の強風の中をゴールを目指して走  
る選手のみなさんに何かを感じたよ  
うでした。惜しくもタイムアップで  
リタイアされた選手をみかけ、続け  
ることの大変さも知ったようです。  
「トライアスロン」も壱岐で計画  
されても良いのでは?と思  
いました。(42歳)

平成30年の新成人



クイズに答えて図書カード(1,000円)  
が当たります。皆さんのご応募待ってま〜す!!

# 議会だよりクイズ

この議会だよりの中に  
答えがありますので、  
最初から最後まで良く  
読んでみてください。



岳ノ辻からの初日の出

Q1

三島の〇〇地区と原島  
地区に放射線防護対策  
施設を建設中

Q2

「〇〇〇〇吉岐」の  
指定管理者が決定

Q3

〇〇〇保育園が小規模  
保育施設を創設

## 前回クイズの答え

①11(人) ②決算 ③四季

## 前回クイズの当選者

中西はる子 様 吉永 直美 様  
岩井記久子 様 神田 雄史 様  
村上佐和子 様



おめでとうございます!

## 《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。ご意見などは、『市民の声』のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521  
吉崎市勝本町西戸触182-5  
吉崎市議会事務局 宛

《しめきり》平成30年2月28日(当日消印有効)

## 訂正とお詫び

前回第55号、植村圭司議員の「子育て支援の進捗」を問う一般質問の記事写真で、市から支援を受けているボランティアサークルを紹介すべきところ、市から支援を受けず活動を続けている「NPO法人ちんぐ☆ちんぐ」の様子を掲載してしまいました。誤解を招く表現でした。訂正してお詫びいたします。  
広報特別委員会 委員長

久保田恒憲

私の昨年一年を表す一文字は「幸」でした。私的には初孫に恵まれた事、公的には議員復帰できた事です。今年が皆様にとって幸せな年になりますよう私たちも努力を続けますので、本年もよろしくお願ひします。

## 編集後記

議会広報特別委員会  
委員長 植村 圭司  
副委員長 久保田恒憲  
委員 山川 忠久  
山内 豊  
清水 修  
土谷 勇二  
中田 恭一  
牧永 護

## お知らせ

吉崎市ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

## 公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

吉崎市議会議員一同

## 編集 議会広報特別委員会

〒811-5521  
長崎県吉崎市勝本町西戸触182-5  
TEL: 0920-42-1111  
FAX: 0920-42-0096  
【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp  
【URL】http://www.city.iki.nagasaki.jp



吉崎市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。